



タイマースケジュール設定ソフト Ver.3

(デジタルプログラムチャイム PA-DT600 設定用)

型
名

PA-ZS600T

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。
この「取扱説明書」は、本製品の操作方法を説明しています。
よくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご注意：

- 本製品にはチャイム音源として、複数の楽曲データが収録されております。
これらのデータをデジタルプログラムチャイム PA-DT600 での再生以外の目的で利用することは禁止されています。
- お客様が新規チャイムとして新たな楽曲を追加登録する場合には、その楽曲の著作権者などの使用許諾を得る必要があります。

もくじ

はじめに

もくじ	2
こんなことができます	3
ソフトウェア使用許諾契約書	4

準備

動作環境	5
システム接続	5
アプリケーションソフトのインストール	6
USB ドライバーのインストール	6
PA-ZS600T のインストール	6
プロジェクトを作成する	7
アプリケーションの概要	8

動作パターンの設定

スケジュール設定	9
スケジュール設定の流れ	9
パターンの設定	10
週間スケジュールの設定	12
年間スケジュールの設定	13

その他の設定

本体の設定	14
新規チャイムの登録および試聴	16
設定データの取り込み／書き込み	18
オプションの設定	20

外部制御

パソコンによる PA-DT600 本体の制御	21
------------------------	----

その他

こんなときは	23
--------	----

こんなことができます

本アプリケーションは、デジタルプログラムチャイム PA-DT600（以下 PA-DT600）のシステム設定および、スケジュール設定を行うための支援アプリケーションです。

スケジュール設定

1 日分のスケジュールであるパターンの設定、1 週間単位での週間スケジュール、特定の日に特別な動作をさせたいときに使用する年間スケジュールの設定が可能です。

PA-DT600 本体に関する設定

PA-DT600 本体の各種設定項目をパソコン画面上から登録することが可能です。

新規チャイムの登録

“校歌” など、ユーザー独自のチャイムや楽曲を登録することができます。

パソコンから PA-DT600 本体を制御する

パソコンから PA-DT600 本体の制御と、エラーログの確認ができます。

この取扱説明書の見かた

■本文中の記号の見かた

- ご注意 : 操作上の注意が書かれています。
- メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
- 🔍 : 参考ページや参照項目を示しています。

■本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- PA-DT600 は、PA-DT600(B) とは製品仕様が異なります。また、本アプリケーションは PA-DT600 のみに対応しています。PA-DT600(B) には対応しておりません。

■デジタルチャイムカードのチャイム音・楽曲一覧

デジタルチャイムカードとは、工場出荷時に PA-DT600 に挿入されている CF カードのことです。

	分類	曲名	時間
1	チャイム	ウェストミンスターの鐘	30 秒
2		ウェストミンスターの鐘（短）	19 秒
3		よろこび	24 秒
4		あおぞら	23 秒
5		ディンドン	18 秒
6		ウェストミンスターの鐘 電子音	31 秒
7		よろこび 電子音	23 秒
8		あおぞら 電子音	22 秒
9		ディンドン 電子音	18 秒
10	楽器	ウェストミンスターの鐘 チューブラベル	31 秒
11		ウェストミンスターの鐘（短） チューブラベル	19 秒
12		よろこび チューブラベル	22 秒
13		あおぞら チューブラベル	22 秒
14		ディンドン チューブラベル	18 秒
15		チャイム 1 音 チューブラベル	12 秒
16		チャイム 上り 3 音 チューブラベル	18 秒
17		チャイム 下り 3 音 チューブラベル	18 秒
18		アマリリス ピブラフォン	27 秒
19		メロディ ピブラフォン	22 秒
20		よろこび グロッケン	20 秒
21		あおぞら グロッケン	20 秒
22	朝向け曲	「ペールギュント」より「朝」	1 分 3 秒
23		夜が明けた	1 分 3 秒
24		「四季」より「春」	1 分 3 秒
25	昼向け曲	小さな世界	3 分 2 秒
26		線路は続くよどこまでも	1 分 4 秒
27		おもちゃの兵隊	1 分 1 秒
28	夕向け曲	夕やけこやけ	1 分 5 秒
29		遠き山に日は落ちて	1 分 30 秒
30		峠の我が家	1 分 4 秒
31	夜向け曲	アニーローリー	1 分 2 秒
32		ほたるの光	3 分 3 秒
33	体操	ラジオ体操第一（号令入り）	3 分 13 秒
34	サイン音	ティンクル 1	4 秒
35		ティンクル 2	7 秒
36		ティンクル 3	11 秒
37		ティンクル 4	5 秒
38		フラワーゴブリン 1	4 秒
39		フラワーゴブリン 2	4 秒
40		フラワーゴブリン 3	16 秒
41		ベルズ オーバーチェア	21 秒
42		ベルズ シンパシー	19 秒
43		スカイ インザピース	19 秒
44		リリィ	14 秒
45		リバー	14 秒
46		グッドラック	13 秒

■CD-ROM 内の JVCCHIME フォルダのチャイム音・楽曲について

PA-DT600 での再生以外の目的で利用しないでください。著作権法により禁止されています。

また、No.25 [小さな世界]、No.33 [ラジオ体操第一] は著作権の関係上 CD-ROM には収録されていません。

ソフトウェア使用許諾契約書

PA-ZS600T をインストールする前に、必ずお読みください。

株式会社 JVC ケンウッド・公共産業システム（以下「弊社」といいます）は、お客様にお買い上げいただいた「タイマースケジュール設定ソフト [PA-ZS600T]」（以下、「本ソフト」といいます）を使用する権利を下記の条件で許諾します。

著作権

本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属し又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトは、日本およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

権利の許諾

1. お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。お客様は、お客様のパソコン 1 台に搭載された HDD その他の記憶装置に本ソフトをインストールし、使用することができます。
2. お客様は、本ソフトをバックアップまたは保存の目的において複製することができます。

制限事項

1. お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法と認められる場合はこの限りではありません。
2. お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。
3. お客様には本ソフトを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。

限定保証

本ソフトは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、弊社はその商品性、特定用途への適合性をはじめ、明示的にも黙示的にも本ソフトに関して一切保証しません。本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

責任の制限

弊社は、本契約その他いかなる場合においても、結果的、付随的あるいは懲罰的損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社を免責し、保証するものとします。

輸出管理

お客様は、本ソフトあるいはそれに含まれる情報・技術を日本ならびにその他の関係国が出荷等を禁止ないし制限している国に出荷、移転または輸出しないことに同意します。

その他

1. 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。
2. 本契約のいずれかの規定が日本国の法律で無効とされた場合も、残りの規定は依然有効とします。
3. 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

動作環境

使用可能なパソコンの仕様

OS : Windows 7 Home Premium
Service Pack 1
Windows 7 Professional Service
Pack 1
Windows 8.1 Update
Windows 8.1 Pro Update
Windows 10 Home
Windows 10 Pro

※ 各 OS は日本語版のみの対応です。
また、32/64 ビットの両方に対応
しています。

CPU、メモリ : 各 OS のシステム要件を満たすこと

ディスプレイ : 1024 × 768 ドット以上

HDD : アプリケーションのインストールに
50 MB 以上の空き容量が必要

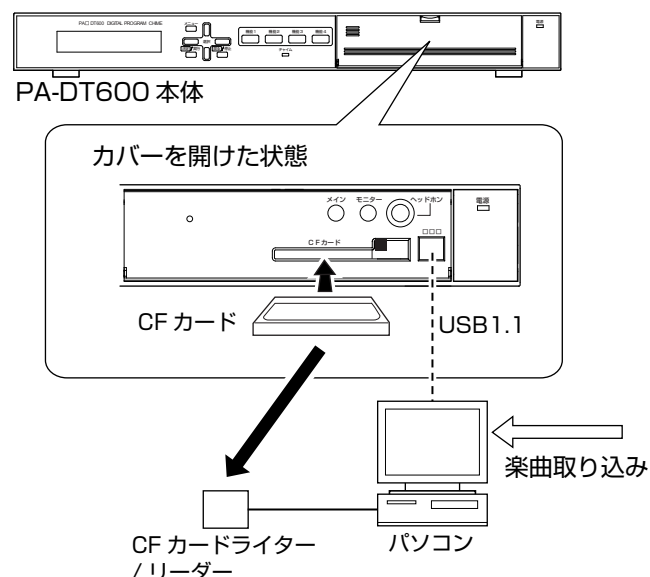
インターフェース : USB 準拠のシリアルインターフェース

メモ :

- コントロールパネルのデスクトップのカスタマイズのディスプレイの設定、または、設定のディスプレイのカスタマイズの設定で、テキストやその他の項目のサイズの拡大率が大きくなっている場合は、設定ソフトウェアの項目が画面に収まらなくなることがあります。その場合は、設定ソフトウェアの項目が画面に収まるように、拡大率を下げてください。
- パソコンの仕様は、アプリケーションを快適にお使いいただくための目安であり、動作の保証をするものではありません。動作環境条件を満たしているパソコンをお使いでも、お客様の使用状況によっては快適にお使いいただけない場合があります。

システム接続

下記のように、PA-DT600 本体とパソコンを接続し、スケジュールの作成などを行います。



メモ :

- 新規チャイムを登録する場合は、CF カード（デジタルチャイムカード）を CF カードライター / リーダーに接続する必要があります。
- PA-DT600 本体で設定したデータをパソコンに取り込んだり、パソコンで設定したデータ（システム設定、スケジュール設定）を CF カードに書き込む場合は、下記の 2 種類の方法で行うことができます。
 - CF カードを PA-DT600 本体に挿入した状態で、パソコンと PA-DT600 を USB で接続する。
 - CF カードを挿入した CF カードライター / リーダーをパソコンに接続し、直接データの取り込み、書き込みを行う。

ご注意 :

- PA-DT600 に添付されている CF カード（デジタルチャイムカード）、デジタルメモリーカード（別売）以外の CF カードの動作保障はいたしません。
「デジタルメモリーカード」（サービスパーツ扱い）
品番 T9D-0027-00 (512MB)

アプリケーションソフトのインストール

USB ドライバーのインストール

USB ドライバーのインストール方法は、インストールガイドをご覧ください。

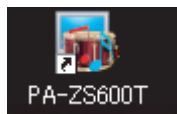
PA-ZS600T のインストール

PA-ZS600T のインストール方法およびアンインストール方法は、インストールガイドをご覧ください。

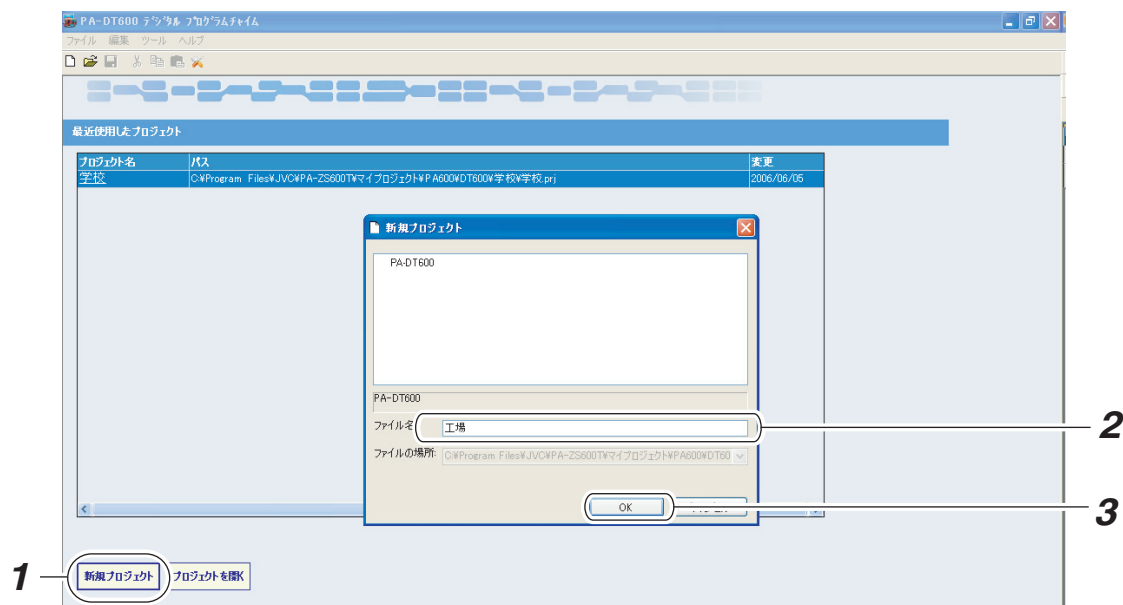
プロジェクトを作成する

下記どちらかの方法で PA-ZS600T を起動し、プロジェクトを作成します。

- デスクトップの [PA-ZS600T] アイコンをクリックする。



- Windows の [スタート] メニュー → [(すべての) プログラム] → [PA-ZS600T] をクリックする。



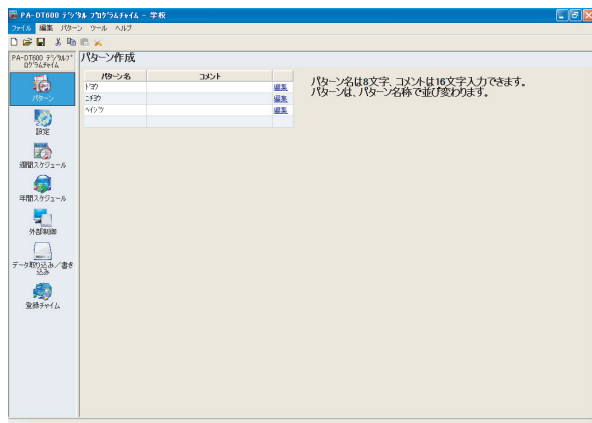
1. [新規プロジェクト] をクリックする

新規プロジェクト画面が表示されます。

2. ファイル名（プロジェクト）を入力する

3. [OK] をクリックする

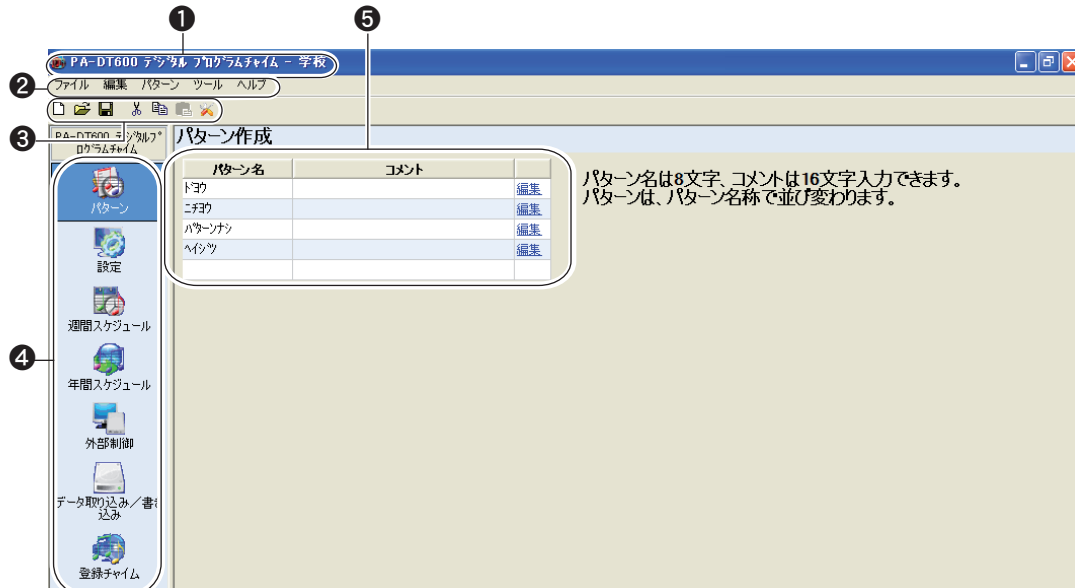
ファイル名（プロジェクト）が決定され、設定画面が表示されます。



アプリケーションの概要

本アプリケーションでは、大きく分けて以下4種類の作業ができます。

スケジュール設定、PA-DT600 本体に関する設定、新規チャイムの登録、パソコンによる PA-DT600 本体の制御の 4 種類です。



① タイトルバー

開いているプロジェクト名が表示されます。

② メニューバー

操作に必要なメニューを表示しています。

③ ツールバー

一部の機能をアイコン表示しています。

④ 登録 / 設定ボタン

●パターン

パターン（1日のスケジュール）を設定する場合にクリックします。

(図 10 ページ)

●設定

リレー名称設定、デバイス設定、機能キー設定など、PA-DT600 本体に関する項目の設定をする場合にクリックします。

(図 14 ページ)

●週間スケジュール

1 週間のスケジュールを設定する場合にクリックします。

(図 12 ページ)

●年間スケジュール

1 年間のスケジュールを設定する場合にクリックします。

(図 13 ページ)

●外部制御

PA-DT600 本体を、パソコンから操作する場合にクリックします。

(図 21 ページ)

●データ取り込み / 書き込み

PA-DT600 本体または CF カードライター / リーダーを使用して、PA-DT600 本体で設定したデータをパソコンに取り込んだり、パソコンで設定したデータを CF カードに書き込むことができます。

(図 18 ページ)

●登録チャイム

PA-DT600 本体に添付の CF カードに入っているチャイムとは別に、任意のチャイムを登録する場合にクリックします。

(図 16 ページ)

⑤ 登録 / 設定画面表示エリア

選択した登録 / 設定ボタン ④ のメニュー画面が表示されるエリアです。

スケジュール設定

スケジュール設定の流れ

プロジェクトごとに1年間のスケジュールを設定します。
年間スケジュールの計画を立ててから設定してください。

Step 1	パターン（1日のスケジュール）の設定 (15 10 ページ) ステップ「何時から何時まで、何を（チャイム、BGM など）放送するか」を組み合わせ て、1日のスケジュール（パターン）を作成 します。
--------	--



Step 2	週間スケジュールの設定 (15 12 ページ) 設定したパターンを、月曜～日曜に当てはめ て、週間スケジュールを作成します。
--------	---



Step 3	年間スケジュールの設定 (15 13 ページ) 週間スケジュールで設定したパターン以外で 動作させる日を個別に指定します。
--------	--



Step 4	設定データの取り込み、書き込み (15 18 ページ) スケジュール設定が完了したら、PA-DT600 本体か、CF カードライター / リーダーを使用 して、CF カードにデータを書き込みます。 PA-DT600 本体で設定されたデータをパソ コンに取り込むことも可能です。
--------	--



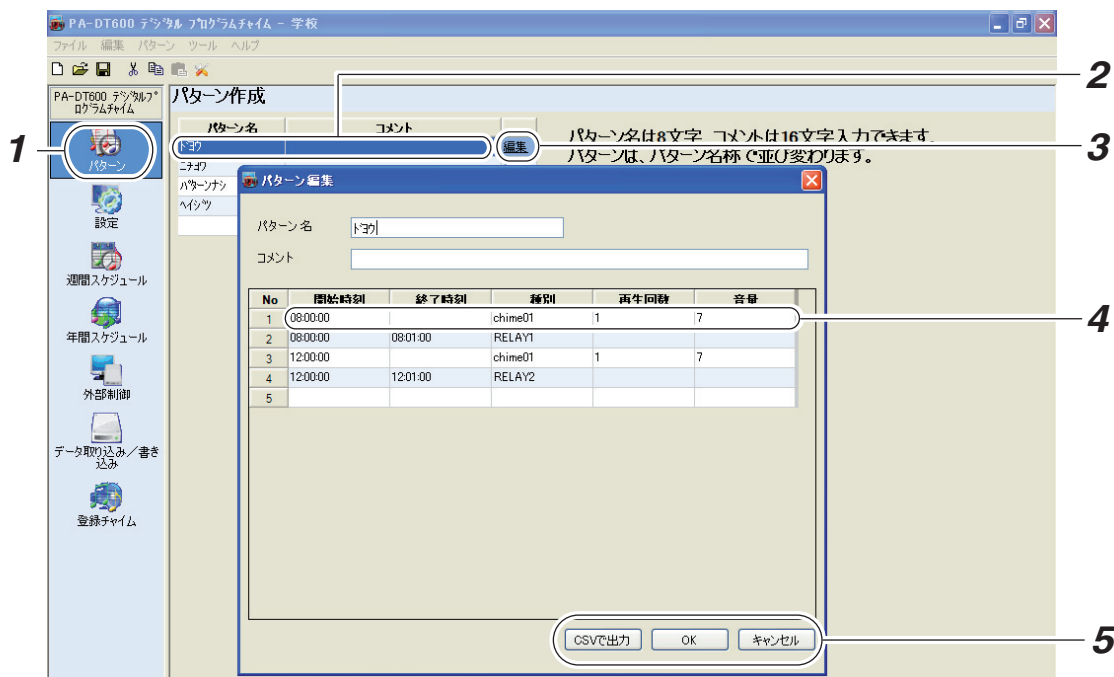
設定完了

スケジュール設定（つづき）

パターンの設定

全スケジュールの基本となるパターンの設定をします。

ステップ（1つの動作）を組み合わせて、パターン（1日のスケジュール）を作成します。



1. パターンアイコンをクリックする

パターン作成画面が表示されます。

2. [パターン名] / [コメント] の欄をダブルクリックし、入力する

パターン名を入力します。必要に応じてコメントも入力できます。

パターン名の例：ヘイジツ、ドヨウビ、キュウジツ、シュクジツ

メモ：

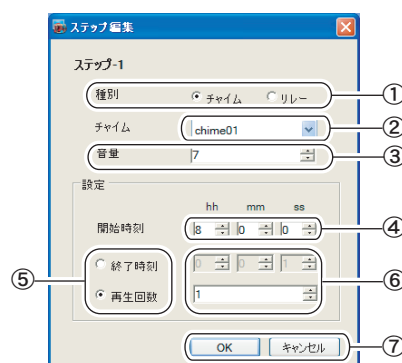
- パターン名の入力は半角のカタカナ、アルファベット、数字のみです。
- パターン名の長さは8文字までです。
- コメントの入力は半角、全角文字どちらも可能です。
- コメントの長さは、半角・全角ともに16文字までです。
- コメントの内容は本体に転送されません。
- 設定を保存するとパターン名称が整列されます。
- 「パターンナシ」は年間スケジュールの設定で使います。(P. 13 ページ)
必要がなければ、編集しないでください。

3. [編集] をクリックする

パターン編集画面が表示されます。

4. ステップを編集する

ステップ欄をダブルクリックすると、ステップ編集画面が表示されます。



ご注意：

- 各数値は最大値より大きな値を入力することができますが、この場合は最大値が設定されます。

① 開始時刻に、リレーを起動するか、チャイムを再生するかを選択します。

リレー：PA-DT600 本体の背面の【制御出力1～8】端子に接続された機器を起動します。

チャイム：CFカードに保存されているチャイムを再生します。

● チャイムを選択した場合の手順

- ② 再生するチャイムを選択します。
[設定値：chime01～chime99]
- ③ チャイムの再生音量を設定します。(チャイム固有の音量です。ステップごとに別々の音量を設定することはできません。)
[設定値：音量0～音量9]
- ④ 開始時刻を入力します。
- ⑤ 再生の終了を、終了時刻で指定するか、再生回数で指定するかを選択します。
- ⑥ 終了時刻を選択した場合、終了時刻を入力します。再生回数を選択した場合、何回繰り返し再生するかを設定します。
[設定値：1回～99回]
- ⑦ 設定が終了したら [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、ステップ編集画面が閉じます。

● リレーを選択した場合の手順

- ② 起動するリレーを選択します。
[設定値：RELAY 1～RELAY 8]
- ③ 音量は設定することができません。
- ④ 開始時刻を入力します。
- ⑤ 選択できません。
- ⑥ 終了時刻を入力します。

メモ：

- リレーを選択した場合、[再生回数] はグレー表示され、選択できません。[終了時刻] のみが表示されます。
- 開始時刻と終了時刻の間は 2 秒以上にしてください。

- ⑦ 設定が終了したら [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、ステップ編集画面が閉じます。

5. すべての設定が完了したら [OK] をクリックする

メモ：

- パターン編集画面の 1 行が 1 ステップを表します。
- 設定できるパターンとステップの最大数は下記のとおりです。

パターン：最大 99

ステップ：1 パターンにつき最大 999 行
(合計 4000 行)

- [CSV で出力] をクリックすると、パターンの内容を .csv ファイル形式で出力できます。

■ ステップをコピーする

パターン編集画面で、ステップをコピーすることができます。同じような動作を設定する場合に便利です。

1. コピーする欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

2. [コピー] をクリックする

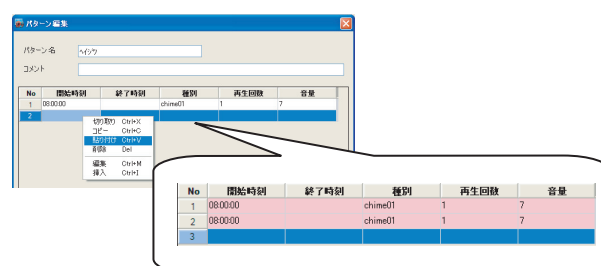


3. 貼り付ける欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

4. [貼り付け] を選択する

ステップがコピーされます。このとき、同じ時間に同じステップが 2 つ存在するので、ステップの欄が緑色とピンク色で点滅表示されます。



5. コピーしたステップの内容を変更する

このとき、点滅表示されなくなったことを確認してください。点滅表示のまま設定を終えると、点滅表示中のステップは動作しません。

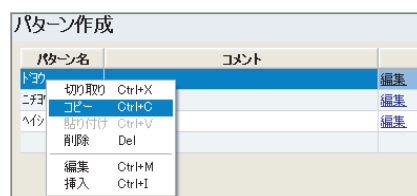
■ パターンをコピーする

パターン作成画面で、パターンをコピーすることができます。同じようなパターンを設定する場合に便利です。

1. コピーする欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

2. [コピー] をクリックする

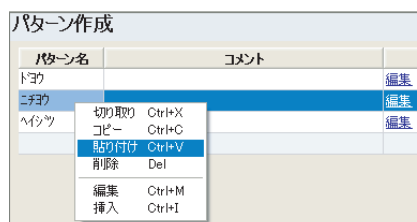


3. 貼り付ける欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

4. [貼り付け] を選択する。

パターンがコピーされます。このとき、パターン名は自動的に貼り付けられます。



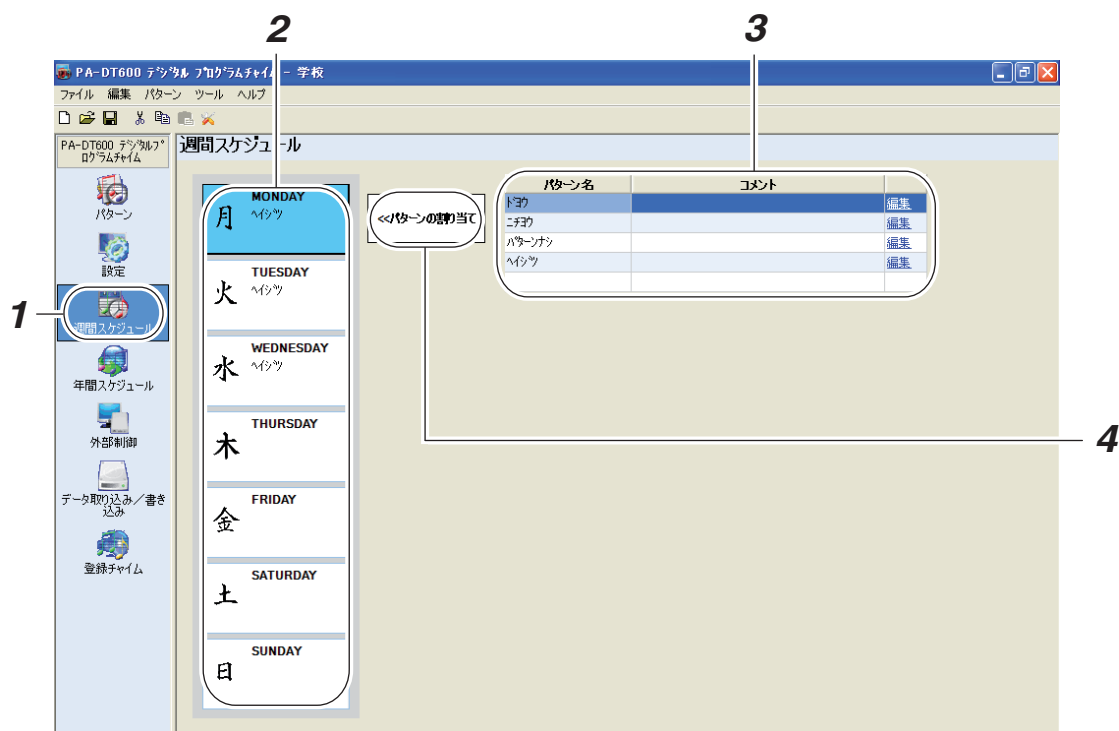
5. パターン名、内容を変更する

必要に応じ、パターン名や内容を変更します。

スケジュール設定（つづき）

週間スケジュールの設定

作成したパターンを月～日の曜日にあてはめ、週間スケジュールを作成します。



1. [週間スケジュール] アイコンをクリックする

週間スケジュール作成画面が表示されます。

2. 曜日ボタンを選択する

選択された曜日ボタンは青く表示されます。

3. 選択した曜日に割り当てるパターンを選択する

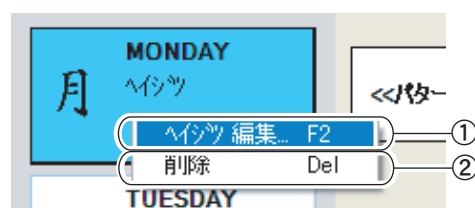
パターン設定 (10 ページ) で設定した [パターン名] と [コメント] が表示されています。

メモ：

- [編集] をクリックすると、[パターン編集画面] が表示され、パターンの編集を行うこともできます。

メモ：

- スケジュールの割り当てが完了したあと、曜日ボタンを右クリックすると、下記項目が表示されます。



- ① クリックすると、[パターン編集] 画面が表示され、パターンの編集ができます。
- ② クリックすると、設定したパターンがキャンセルされます。

4. [パターンの割り当て] ボタンをクリックする

選択したパターンが、割り当てられ、曜日ボタンの中に、パターン名が表示されます。

年間スケジュールの設定

年間スケジュールは、年間をとおして、個別にパターンを割り当てたい日がある場合に設定します。

年間スケジュールで割り当てられたパターンは、週間スケジュールで同じ日に割り当てられたパターンよりも優先して実行されます。



1. [年間スケジュール] アイコンをクリックする

年間スケジュール作成画面が表示されます。

2. 年月を設定する

設定開始年月をプルダウンメニューから選択し、[セット]を押します。

4ヶ月分のカレンダーが表示されます。

3. 特別なパターンを割り当てたい日を選択する

選択した日付が、グレーで表示されます。

複数選択も可能です。

4. 割り当てるパターンを選択する

割り当てたいパターンを選択してください。

メモ：

- [編集] をクリックすると、[パターン編集画面] が表示され、パターンの編集を行うこともできます。また、ここでパターンを作成することもできます。
- 「パターンナシ」を割り当てると、当日のパターンを停止させることができます。

5. [パターンの割り当て] をクリックする

選択したパターンが割り当てられ、日付の下にパターン名が表示されます。

メモ：

- 年間スケジュールの割り当てが完了したあと、パターンを割り当てた日付を右クリックすると、下記項目が表示されます。



- ① クリックすると、[パターン編集] 画面が表示され、パターンの編集ができます。

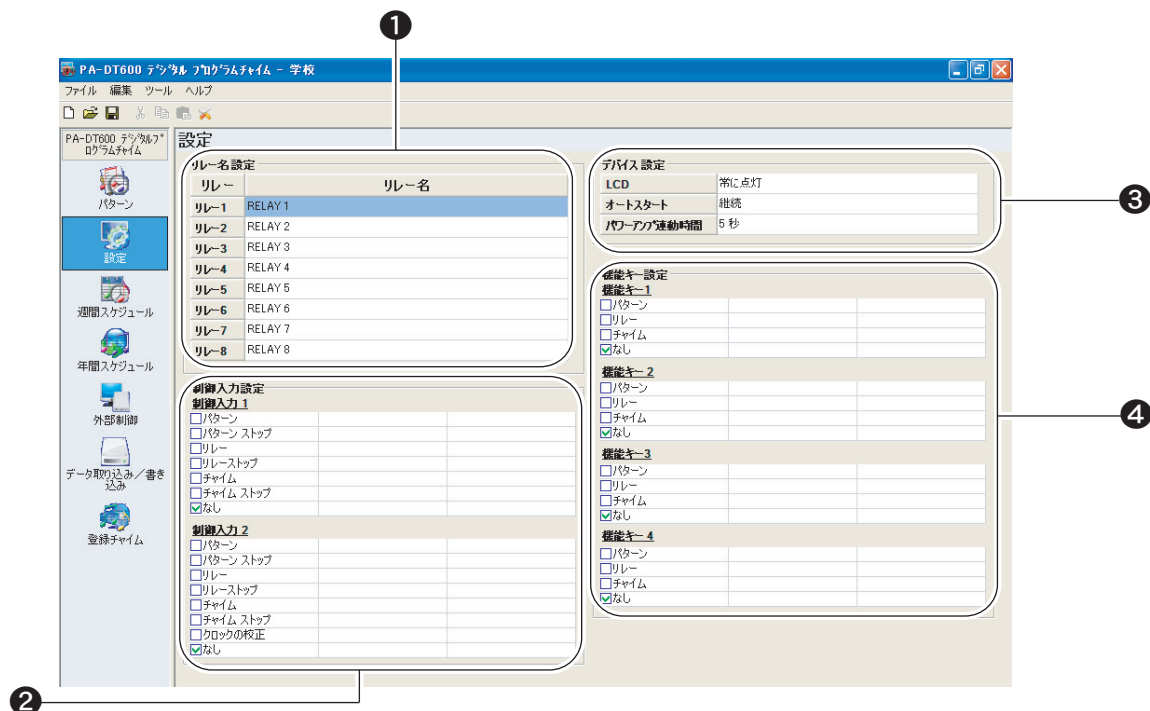
- ② クリックすると、設定がキャンセルされます。

6. CSV ファイルを出力する（必要な場合）

[CSV 出力] をクリックすると週間スケジュール、年間スケジュールの内容を、.csv ファイル形式で出力できます。

本体の設定

本体のハードウェアに関する設定をパソコンで行うことができます。
設定アイコンをクリックし、必要に応じて下記設定を行なってください。



① リレー名設定

名称をクリックして、PA-DT600 本体の背面〔制御出力 1～8〕端子に接続された被制御機器（アンプなど）の名称を入力します。

メモ：

- リレー名は半角カタカナ、英数字で 8 文字までです。

② 制御入力設定

● 制御入力 1 / 制御入力 2

PA-DT600 本体の背面〔制御入力 1 / 制御入力 2〕に接続された機器からの信号を受信したときの動作を割り当てます。

パターン： 入力があると、設定されたパターンで動作します。パターンとモードが設定でき、項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。モード設定で〔1 日〕を選択すると、翌日自動的に解除されます。手動で解除したい場合は〔継続〕を選択します。
〔設定値：既に設定されているパターン〕
〔設定値：1 日 / 継続〕

パターンストップ：

入力があると、設定されたパターンを停止します。

リレー： 入力があると、選択したリレー（PA-DT600 本体背面の〔制御出力 1～8〕端子）に接続された機器が起動します。リレーは選択でき、項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
〔設定値：RELAY 1～RELAY 8〕

リレーストップ：

入力があると、選択したリレー（PA-DT600 本体背面の〔制御出力 1～8〕端子）に接続された機器を停止させます。

チャイム： 入力があると、設定されたチャイムを再生します。チャイムの種類と音量が選択でき、項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
〔設定値：chime01～chime99〕
〔設定値：音量 0～音量 9〕（チャイム固有の音量です。制御入力、機能キーごとに別々の音量を設定することはできません。）

チャイムストップ：

入力があると、設定されたチャイムを停止します。

なし： 機能を割り当てません

クロックの校正（制御入力 2 のみ）：

入力があると、時刻校正を行います。

③ デバイス設定

●LCD

PA-DT600 本体の LCD 画面のバックライトの設定を行います。

常に点灯：常にバックライトを点灯します。

常に消灯：常にバックライトを消灯します。

キー連動：ボタンを押すと、30秒間点灯し、その後消灯します。

メモ：

●“常に消灯”に設定した場合でも、下記の状態になるとバックライトが点灯します。

- ・スケジュール実行中に PA-DT600 本体の [停止] ボタンを押したとき
- ・メインメニュー画面に入ったとき
- ・パソコンとの通信を開始したとき

●オートスタート

電源を入れ直した場合のスケジュールの実行状態を設定します。

継続：電源を入れると、自動的に電源を切る前のスケジュール状態に戻ります。

停止：電源を入れると、スケジュール停止状態になります。

実行：電源を入れると、自動的にスケジュール実行状態になります。

●パワーアンプ連動時間

チャイムやBGMなどを、本機に接続したアンプなどをとおして出力する場合、チャイムやBGMが出力される前にアンプの電源をONにすることができます。

5秒：出力の5秒前に電源をONします。

10秒：出力の10秒前に電源をONします。

④ 機能キー設定

●機能キー1～4

PA-DT600 本体の前面 [機能1～4] ボタンを押したときの機能を割り当てます。

パターン：機能キーを押すと、設定されたパターンで動作します。

パターンとモードが設定でき、項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

モード設定で [1日] を選択すると、翌日自動的に解除されます。手動で解除したい場合は [継続] を選択します。

[設定値：既に設定されているパターン]

[設定値：1日 / 継続]

リレー：機能キーを押すと、選択したリレー（PA-DT600 本体背面の [制御出力1～8] 端子）に接続された機器が起動します。

リレーは選択でき、項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

[設定値：RELAY 1～RELAY 8]

チャイム：機能キーを押すと設定されたチャイムを再生します。チャイムと音量が選択でき、項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

[設定値：chime01～chime99]

[設定値：音量0～音量9]（チャイム固有の音量です。制御入力、機能キーごとに別々の音量を設定することはできません。）

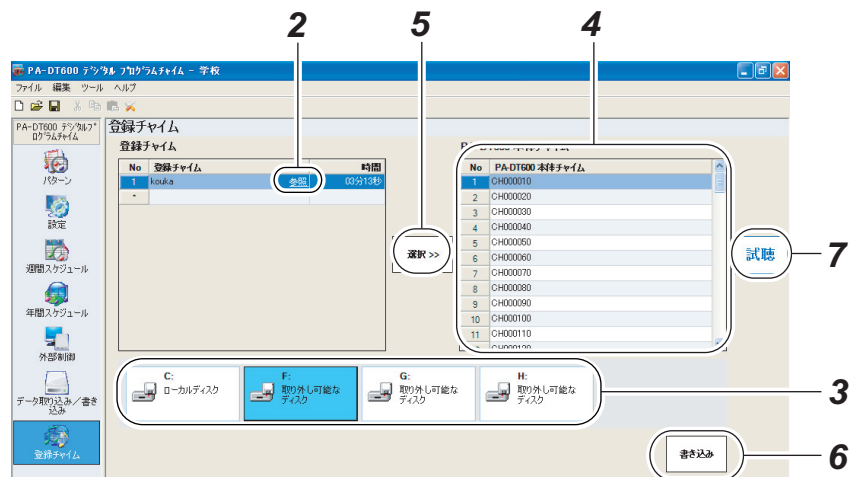
なし：機能キーに機能を割り当てません。

新規チャイムの登録および試聴

工場出荷時には 01 から 46 番までのチャイム・楽曲が入っていますが、お客様オリジナルのチャイム・楽曲（例えばお客様の学校の“校歌”など）を追加登録することが可能です。

なお、再生するチャイム・楽曲は登録チャイムの処理を行い、PA-DT600 で再生可能な形式に変換する必要があります。

下記に「校歌」を新規に登録する例と、チャイム・楽曲の試聴方法を説明します。



ご注意：

- お客様が新規チャイムとして新たな楽曲を追加登録する場合には、その楽曲の著作権者などの使用許諾を得る必要があります。

■ 楽曲の登録

1. “校歌” のオーディオファイルを用意します

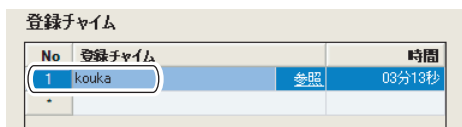
あらかじめ市販のオーディオ編集ツールなどを使用し、録音した校歌をリニア PCM の wave 形式のファイルとしてパソコン上に保存しておきます。（[kouka.wav] で保存）

メモ：

- この時のファイルフォーマットは下記のいずれかである必要があります。
 - サンプル周波数 44.1 kHz、モノラル、16 ビット
 - サンプル周波数 22.05 kHz、モノラル、16 ビット
 - サンプル周波数 22.05 kHz、ステレオ、16 ビット

2. 本アプリケーションの【登録チャイム】設定画面の【参照】をクリックし、kouka.wav ファイルを選択する

[kouka] が登録画面上に表示されます。



3. CF カードドライブを選択する

PA-DT600 本体の CF カードを取り出し、パソコンのカードリーダー / ライターに挿入し、CF カードドライブを選択します。（例では F ドライブ）

CF カードドライブを選択すると「PA-DT600 本体チャイム」に CF カード内のチャイムファイルのリストが表示されます。

4. チャイム No. を指定する

PA-DT600 本体チャイムで登録したい番号を選択します。（例では 47 番を選択）



メモ：

- 工場出荷時は 46 番までチャイム・楽曲が入っています。上書き登録をしたくない場合は 47 番～99 番をご使用ください。

5. 【選択】をクリックする

No.47 に [kouka] が登録されます。



6. 【書き込み】をクリックする

ファイル形式およびファイル名の変換と、書き込みが実行されます。（例では CH000470.jav に変換されます。）

メモ：

- より長時間のチャイム・楽曲を登録したい場合

工場出荷時には、CF カードに約 5 分程度（サンプリング周波数 22.05kHz モノラルの場合）の空きがありますが、これ以上の曲を追加したい場合は、使用しないチャイム・楽曲を削除するか、別売のデジタルメモリーカードをご使用ください。（5 ページ）

削除する場合は「PA-DT600 本体チャイム」よりファイルを選択して「Delete」キーを押すか、右クリックして「削除」を実行してください。

- 添付の CD-ROM の JVCCHIME フォルダのチャイム音源について

PA-DT600 での再生以外の目的で利用しないでください。著作権法により禁止されています。また、No.25 [小さな世界]、No.33 [ラジオ体操第一] は著作権の関係上 CD-ROM には収録されていません。

- CF カードの音源について

複製やバックアップは決して行わないでください。著作権法により禁止されています。

- 誤って CF カードのチャイム音源ファイルを消したら

JVCCHIME フォルダのチャイム音源をコピーして使用してください。

その場合、No.25 [小さな世界]、No.33 [ラジオ体操第一] は収録されていませんので、ご注意ください。

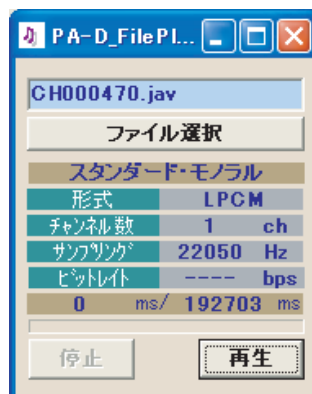
■ チャイム・楽曲の試聴

1. ファイルを選択する

CF カード内の、PA-DT600 本体チャイム（16 ページ図の 4）から再生するファイルを選択します。

2. 試聴する

〔試聴〕（16 ページ図の 7）をクリックすると [PA-D_FilePlayer] が起動します。



ここで [再生] をクリックすると、再生を開始します。
[ファイル選択] をクリックすると再生するファイルを切り換えることができます。

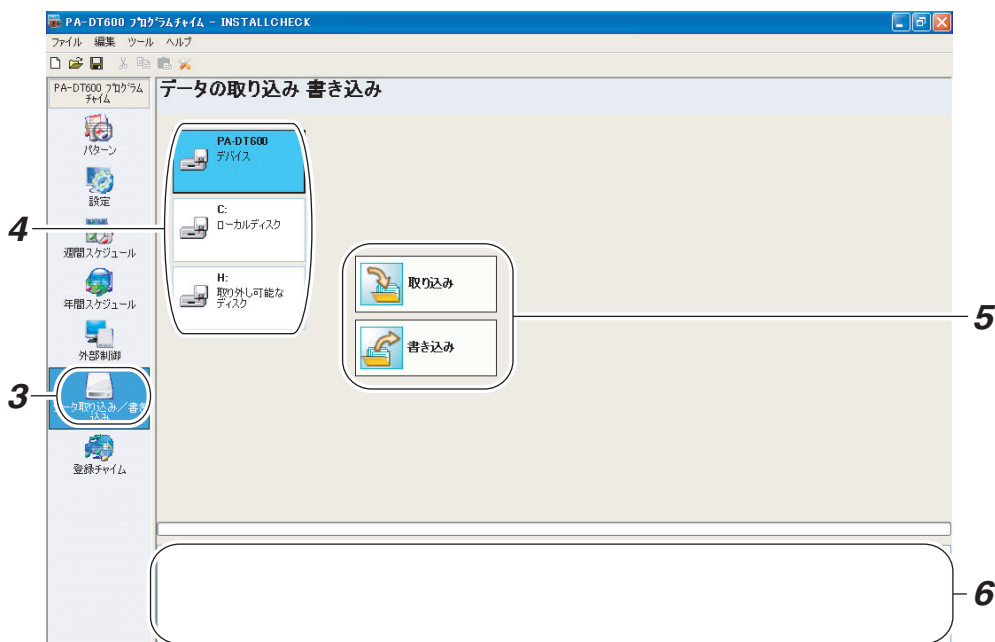
メモ：

再生できるのは、PA-DT600 用に変換してあるファイル（.jav）のみです。

試聴が終了したら [PA-D_FilePlayer] を終了してください。

設定データの取り込み／書き込み

PA-DT600 本体または CF カードライター / リーダーを使用して、PA-DT600 本体で設定したスケジュールなどのデータをパソコンに取り込んで編集したり、本アプリケーションで設定したスケジュールなどのデータを CF カードに書き込むことができます。



■PA-DT600 本体を使用した場合

1. パソコンとPA-DT600本体をUSBケーブルで接続する (※ 5 ページ)

2. PA-DT600 本体の LCD 画面が【タイキチュウ】(待機中) になっていることを確認する

ご注意：

- PA-DT600 本体の LCD 画面が【タイキチュウ】になっていないと、パソコンとの通信はできません。

3. 【データの取り込み / 書き込み】アイコンをクリックする

データ取り込み / 書き込み画面が表示されます。

ご注意：

- データの取り込みを行うと、パソコン側で編集中のスケジュールなど、プロジェクトのデータがすべて上書きされます。
- データの書き込みを行うと、PA-DT600 本体の CF カードにあるスケジュールなどのデータがすべて上書きされます。データの書き込みの前に必ず、別のプロジェクトでデータを取り込み、バックアップを行なってください。

4. 【PA-DT600 デバイス】をクリックする

5. 【取り込み】もしくは【書き込み】をクリックする

PA-DT600 本体の CF カードからスケジュールなどのデータを取り込む場合は【取り込み】、設定したスケジュールなどのデータを本体に書き込む場合は【書き込み】をそれぞれクリックします。

6. 【取り込み】もしくは【書き込み】の完了

取り込みが完了するとメッセージウインドウに「インポートに成功しました。」と表示されます。

書き込みが完了するとメッセージウインドウに「エクスポートに成功しました。」と表示されます。

■ CF カードライター / リーダーを使用した場合

1. CF カードを挿入した CF カードライター / リーダーをパソコンに接続する
2. パソコンの [マイコンピュータ] など、CF カードが認識されていることを確認する
3. [データの取り込み / 書き込み] アイコンをクリックする

データ取り込み / 書き込み画面が表示されます。

ご注意：

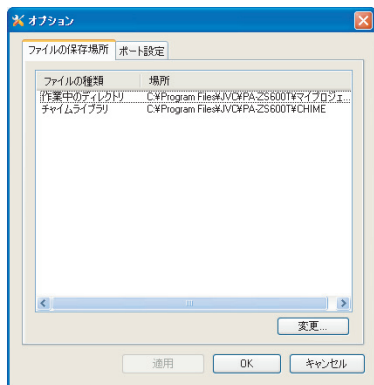
- データの取り込みを行うと、パソコン側で編集中のスケジュールなど、プロジェクトのデータがすべて上書きされます。
- データの書き込みを行うと、CF カードのスケジュールなどのデータがすべて上書きされます。データの書き込みの前に必ず、別のプロジェクトでデータを取り込み、バックアップを行ってください。

4. [取り外し可能なディスク] (CF カードドライブ) をクリックする
5. [取り込み] もしくは [書き込み] をクリックする
CF カードからスケジュールなどのデータを取り込む場合は [取り込み]、設定したスケジュールなどのデータを CF カードに書き込む場合は [書き込み] をそれぞれクリックします。
6. [取り込み] もしくは [書き込み] の完了
取り込みが完了するとメッセージウインドウに「インポートに成功しました。」と表示されます。
書き込みが完了するとメッセージウインドウに「エクスポートに成功しました。」と表示されます。
7. CF カードを CF カードライター / リーダーからはずし、PA-DT600 本体に挿入する

オプションの設定

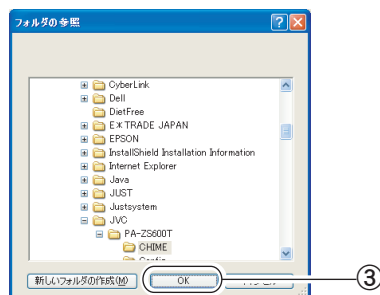
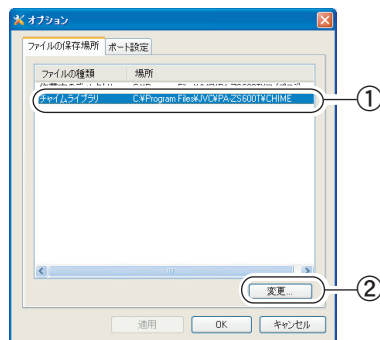
オプションの設定は、ファイルの保存場所や通信ポートの設定を変更したい場合に行います。

1.メニューバーの「ツール」から「オプション」を選択する
オプション画面が表示されます。



● チャイムライブラリ

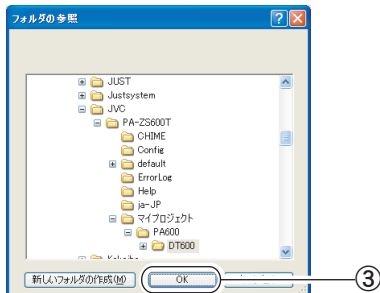
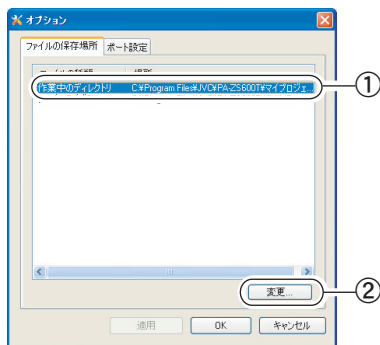
- ① 新規チャイムの登録作業に使用するフォルダーを変更したい場合、[チャイムライブラリ] を選択する。
- ② [変更] をクリックする。
- ③ フォルダーを選択して [OK] をクリックする。



■ ファイルの保存場所設定

● 作業中のディレクトリ

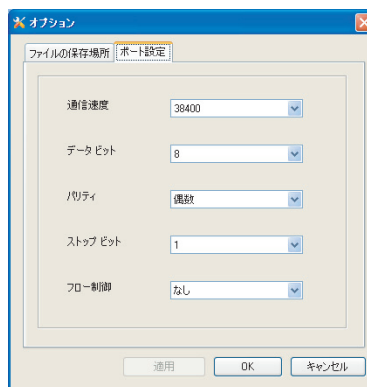
- ① プロジェクトを保存するフォルダーを変更したい場合、[作業中のディレクトリ] を選択する。
- ② [変更] をクリックする。
- ③ フォルダーを選択して [OK] をクリックする。



■ ポート設定

特に変更の必要がない場合、以下の値に設定してください。

通信速度 : 38400
データビット : 8
パリティ : 偶数
ストップビット : 1
フロー制御 : なし



パソコンによる PA-DT600 本体の制御

パソコンから、PA-DT600 本体を制御することができます。

外部制御中は、パソコンからの操作が優先されます。PA-DT600 本体のボタン操作はできません。

1. パソコンと PA-DT600 本体を USB ケーブルで接続する (☞ 5 ページ)

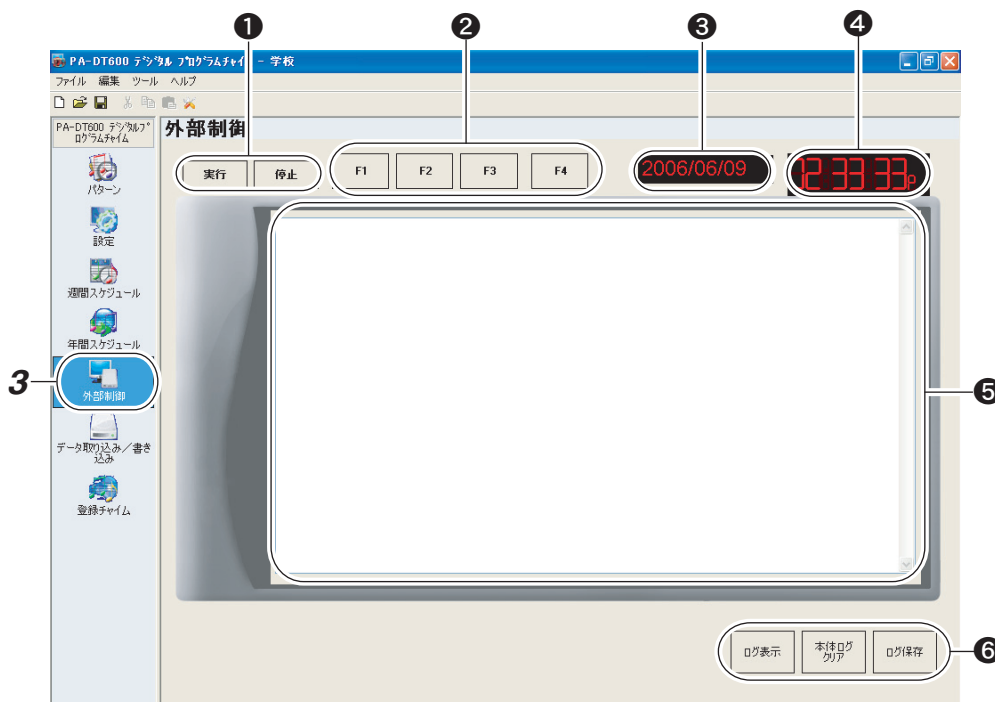
2. PA-DT600 本体の LCD 画面がメニュー画面でないことを確認する

ご注意：

- PA-DT600 本体の LCD 画面がメニュー画面を表示しているあいだは、パソコンとの通信はできません。

3. [外部制御] アイコンをクリックする

外部制御画面が表示されます。



① [実行 / 停止] ボタン

実行 : PA-DT600 を実行状態にする場合にクリックします。

停止 : PA-DT600 を停止状態にする場合にクリックします。

メモ：

- 停止ボタンをクリックすると、[機能] キー、[制御入力] 端子の動作も停止します。

② [F1 ~ F4] ボタン

クリックすると、それぞれのボタンに割り当てられた動作をします。“機能キー 1 ~ 4” (☞ 15 ページ)

③ 日付表示部

現在の日付が表示されます。

④ 時刻表示部

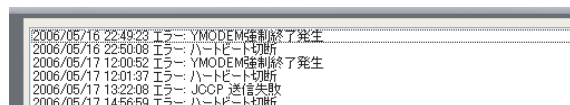
PA-DT600 本体の現在時刻が表示されます。

右端の [A] [P] は、それぞれ、AM (午前)/PM (午後) を表します。

パソコンによる PA-DT600 本体の制御（つづき）

⑤ エラーログ表示部

ログ表示ボタン ⑥ をクリックすると、動作エラーの全記録（ログ）が表示されます。



```
2006/05/16 22:49:23 エラー: YMODEM強制終了発生
2006/05/16 22:50:08 エラー: ハートビート切断
2006/05/17 12:00:52 エラー: YMODEM強制終了発生
2006/05/17 12:01:37 エラー: ハートビート切断
2006/05/17 13:22:08 エラー: JCCP 送信失敗
2006/05/17 14:56:59 エラー: ハートビート切断
```

ご注意：

- 表示できるエラーログは最大 100 件です。100 件を超えると、一番古いログから消去されます。

⑥ ログ操作ボタン

ログ表示 : 動作のエラーログが、エラーログ表示部 ⑤ に表示されます。

本体ログクリア : すべてのログが消去されます。

ログ保存 : ログをテキストファイルに保存する場合にクリックします。[名前を付けて保存] 画面が表示されますので、保存場所を選択し、名前をつけて保存してください。

メモ：

- ログ内容の詳細については、PA-DT600 本体の取扱説明書をご覧ください。
(☞ PA-DT600 取扱説明書 39 ページ「エラーログ」)
- 不明な点は販売店または、サービス窓口にお問い合わせください。

こんなときは

症状	原因と対策
パソコンにアプリケーションがインストールできない	パソコンの動作環境を確認してください。(P. 5 ページ)
アプリケーションが起動しない	パソコンの動作環境を確認してください。(P. 5 ページ) 動作環境に問題がない場合は、必要なファイルが削除、もしくは破損している可能性があります。再インストールしてください。(P. 6 ページ)
通信異常がでる	<ul style="list-style-type: none"> ● USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ● PA-DT600 本体の LCD がメニュー画面でないことを確認してください。
新規チャイムが登録できない	<ul style="list-style-type: none"> ● チャイムのフォーマットを確認ください。PA-DT600 で対応可能なフォーマットはリニア PCM で周波数などが、下記の 3 種類のみです。 <ol style="list-style-type: none"> (1) サンプリング周波数 44.1kHz モノラル 16 ビット (2) サンプリング周波数 22.05kHz モノラル 16 ビット (3) サンプリング周波数 22.05kHz ステレオ 16 ビット

**JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター**

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12